

令和5年度
三好市歴史的風致維持向上計画
(進捗評価シート)

三 好 市

令和5年度進捗評価シート
三好市歴史的風致維持向上計画（第2期）（平成31年4月1日認定）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画調整担当部署と事業担当部署の連携	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用と景観条例の運用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的建造物保存修理事業	3
登録有形文化財「山下家住宅別邸」保存修理事業		
2 重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」保存修理事業	4
文化財の保存・修復と活用事業		
3 歴史的建造物等の公開及び活用事業	5
歴史的建造物空き家相談事業		
4 茅葺屋根葺き替え資材確保事業	6
祖谷の蔓橋架け替え資材確保事業		
5 景観整備事業	7
6 無電柱化事業(池田町及び井川町「うだつの町並み」)	8
7 祖谷の蔓橋架け替え継承事業	9
茅葺屋根保存団体の設立及び継承事業		
祖谷石積み工法継承事業		
8 重要無形民俗文化財「西祖谷の神代踊」継承事業	10
伝統行事担い手支援事業		
9 急傾斜地農業継承事業	11
10 佐野集落文化遺産総合調査	12
歴史的文化遺産の掘り起しと保存・継承活動		
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用・修理(整備)について	13
2 文化財の保存・活用を行うための施設について	14
文化財周辺の環境保全について		
文化財の普及・啓発について		
3 文化財の防災について	15
埋蔵文化財の取扱いについて		
文化財行政の体制について		
各種団体の状況について		
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 郷土の自然・歴史満喫 ほか	16
2 地元の魅力後世に	17
3 真心込め丁寧ほか	18
4 「歴まちカード」三好で配布 ほか	19
5 藤川谷国記念物に ほか	20
⑥その他(効果等)(様式1-6)	21
1 観光入込客数の推移		
口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	22

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
●計画調整担当部署と事業担当部署の連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 事業実施に向けての三好市歴史的風致維持向上計画協議会、三好市文化財保護審議会、三好市伝統的建造物群保存地区保存審議会との連携を深め、円滑な事業の推進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●計画調整担当部署と事業担当部署の連携
 ・計画実施体制に変更はなく、計画調整担当部署と事業担当部署の連携の下、事業が推進されている。令和5年度は、法定協議会の三好市歴史的風致維持向上計画協議会は令和5年5月12日に進捗状況や本年度から始まる事業の確認が行える現場での会議とした。(コメントは書面での回答とした)。三好市伝統的建造物群保存地区保存審議会は審議案件がなかったため行わなかった。令和5年度の三好市文化財保護審議会は令和5年5月15日に通常開催し令和5年度の三好市歴史的風致維持向上計画第2期について事業内容等の説明を行い意見を伺った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

第2期計画も5年目が終わり計画に基づき事業に順次着手し、関係担当部署と連絡調整等を行っているが、これまで同様に事業(建築及び土木工事)によっては歴史的風致に問題が生じてしまうものも少なくない。当計画の目的や最終的な目標について理解してもらい実効性のあるような協力体制を整えていく。

状況を示す写真や資料等

【三好市歴史的風致維持向上計画協議会の開催】

- 開催日 R5. 5. 12、三好市歴史的風致維持向上計画協議会を開催。
- 主な議事
 - ・令和4年度事業進捗状況について
 - ・令和5年度事業計画(案)について



【三好市文化財保護審議会の開催】

- ◎開催日 R5. 5. 15 通常開催
- 開催場所 山城公民館
- 主な議事
 - ・三好市文化財指定、調査について
 - ・令和4年度事業報告について
 - ・令和5年度事業計画(案)について
 - ・三好市歴史的風致維持向上計画第2期について



評価軸①-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況
●景観計画の活用と景観条例の運用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 地域それぞれが持つ様々な種類の資源による独自の景観特性をはじめ、既存の法規制等の状況に応じたきめ細かく実効性の高い景観づくりを図るため、5つの区分(ゾーン)分けにより定める基本方針に基づき区域内の行為の制限や良好な景観誘導を図る。特に歴史的風致維持向上計画で設定する重点区域を「歴史的風致ゾーンⅠ・Ⅱ」として、その特性に応じた景観保全整備に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●景観計画の活用と景観条例の運用
 ・本市では、「歴史的風致維持向上計画」の認定に伴い、平成23年3月「景観計画」の策定、同年6月に「景観条例」の制定、平成24年4月1日に景観条例を施行した。その後、景観パンフレット作成、建築関係業者説明会開催など景観形成重点地区設置に向けての調査・説明会の開催や、景観計画区域内で工作物の新設等の行為に関して協議を求める区域を新たに設定した。景観重点区域である祖谷地区では、重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」で、これまで景観改善事業として令和2年度まで20件の修理修景を行ってきた。令和5年度は修理修景案件はなかった。平成22年度からは重伝建地区内、令和2年度からは重伝建保存地区外(落合地区)において、景観改善を図るために赤や青のトタン屋根を古色系(茶色)で統一するための修景補助事業(屋根塗り替え)を準備し、令和5年度は1件の2棟の修景補助事業を行った。
 ・重点区域である吉野川支流祖谷川流域「祖谷地区」にある、重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」近くにあった景観を阻害していた空き家の撤去を行った。

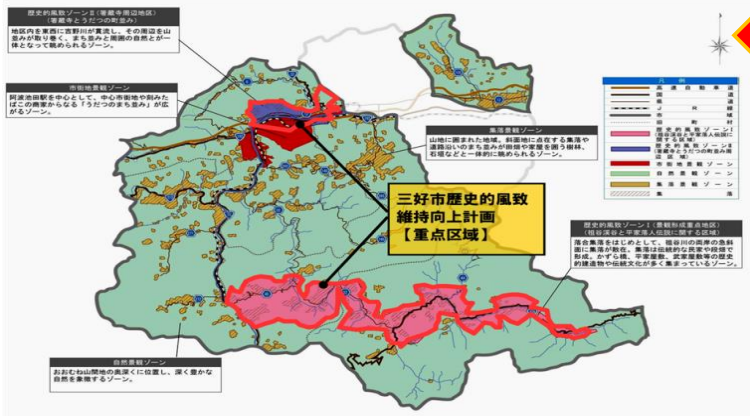
進捗状況 ※計画年度との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

本市の景観計画は、市民、事業者、行政、三好市を訪れる方など関係者が一丸となって良好な景観づくりに取り組むことを目指している。そのため届出対象行為外への誘導が課題となる。今後においても、関係者への周知徹底を図るため継続的な啓発活動を行う。

状況を示す写真や資料等



三好市歴史的風致維持向上計画で設定する重点区域の「吉野川支流祖谷川流域祖谷地区」を「歴史的風致ゾーンⅠ」に、「吉野川中流域池田町及び井川町地区」を「歴史的風致ゾーンⅡ」に設定し、三好市歴史的風致維持向上計画と連携した良好な景観形成を図ることを目指している。

【三好市景観計画書(平成23年3月)】



【三好市景観計画区域のゾーン分け(区分別)】

【重点区域(祖谷の蔓橋付近)景観阻害建造物の撤去】

解体前

解体後



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的建造物保存修理事業 ● 登録有形文化財「山下家住宅別邸」保存修理事業 			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備総合事業)		
計画に記載している内容	・歴史的建造物保存修理事業/歴史的建造物の保存・活用を図るために、空き家となった町屋等を取得又は借り上げのうえ修理修景を行い、地域の歴史的風致の核となる施設として整備する。 ・登録有形文化財「山下家住宅別邸」保存修理事業/井川町の町並みにある、登録有形文化財「山下家別邸」を購入し、修理修景を実施し保存及び活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的建造物保存修理事業 ● 登録文化財「山下家別邸」保存修理事業 ・歴史的建造物保存修理事業として、市指定文化財「真鍋家住宅」の修理計画を策定し令和4年度に西門整備の設計を行い、令和5年度に修理工事を行った。 ・登録有形文化財「山下家住宅別邸」は令和元年度から令和2年度に公開活用のための整備事業を行い、令和3年度より地元団体である辻まち活性化協議会が産直市や食堂として活用し、令和4年度からは他団体も井川茜の会による茜染め体験や辻まちガイドの勉強会等としての活用も行った。(R3:利用者数60件・R4:76件・R5:79件) 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	三好市歴史的風致維持向上計画(第1期)からの計画事業であった登録文化財「山下家別邸」は、令和2年度に公開活用に伴う工事を令和3年度より活用を開始。交流拠点施設として活用は増えている。今後は2階部分も整備し活用を図る必要がある。また、他の歴史的建造物についても各旧町村に「山下家住宅別邸」と同様に保存修理と併せて活用を考えていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

【市指定文化財「真鍋家住宅」】

西門修理

修理前



修理後



【登録有形文化財「山下家住宅別邸」】

茜染め体験



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」保存修理事業 ●文化財の保存・修理と活用事業 			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	・重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」保存修理事業/重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」の保存・活用を図るために、3年に1度の架け替えを行う。また中期では、部分的な修繕を行う。 ・文化財の保存・修理と活用事業/経年劣化による破損がみられる指定文化財等の適切及び定期的な保存修理を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> ●重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」保存修理事業●文化財の保存・修理と活用事業 ・昭和3年に復元修理が行われ、昭和30年に重要有形民俗文化財に指定されてからは、3年に1度の架け替えが実施され保存及び活用がされてきた。令和5年度は、架け替えの年で、令和6年1月10日から同年2月20日で架け替えが行われた。 ・指定文化財の修理として、市の補助制度を活用し市指定文化財(建造物)1件の修理を行った。 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・「祖谷の蔓橋」の架け替えに必要な材料となるシラクチカズラ約6tの確保が祖谷地区において困難な状況となっているため、高知県の国有林で採取している。こうした状況を踏まえ、祖谷地区国有林や民有林を有する関係者と蜜に連携し今後はシラクチカズラの植樹箇所を増やし確保に努める。 ・文化財の修理は、維持費用の負担が課題であるが、文化財への保存に対する意識を高めていくため住民に丁寧な説明を行っていく。		
状況を示す写真や資料等			

【重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」架け替え】

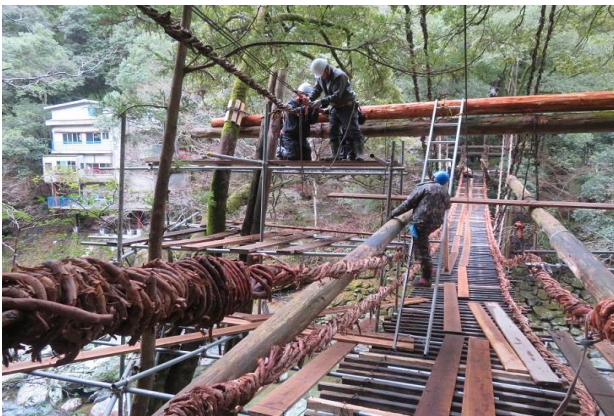
古カズラの撤去



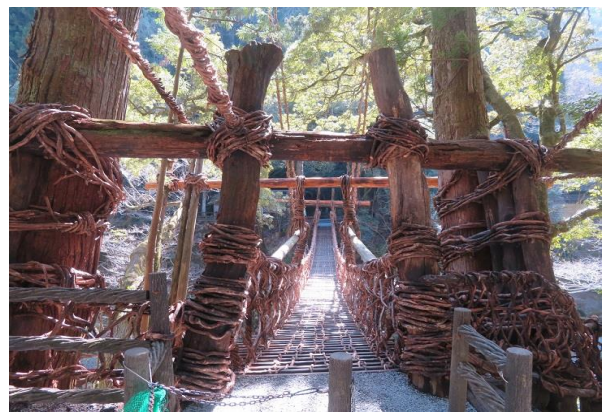
新しいカズラの架け替え



各部材の取り換え



完成



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的建造物等の公開及び活用事業 ● 歴史的建造物空き家相談事業 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

- ・歴史的建造物等の公開及び活用事業/指定文化財の建造物を維持管理しながら、地域住民や来館者に公開し、イベント等による公開事業を実施する。
- ・歴史的建造物空き家相談事業/指定・登録・選定を受けてる歴史的建造物は、少子高齢化に伴い空き家が増加し多くの所有者が保存活用に頭を悩ませている。こうした状況から空き家相談窓口の設置や空き家相談会を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●歴史的建造物の公開及び活用事業について
 令和5年度に公開活用されている指定文化財建造物は下記15件。選定文化財(重伝建)では9件。登録文化財では2件。
 ・市指定文化財「真鍋家住宅」「馬宮家薬師門」「西岡家住宅」(市指定文化財建造物3件中3件とも公開)
 ・県指定文化財「川人家長屋門」「阿佐家住宅」「善蔵寺観音堂」(県指定文化財建造物3件中3件とも公開※一部内部は非公開)
 ・国指定文化財「木村家住宅主屋及び隠居屋」「小栗家住宅」「善蔵寺本殿他5棟」「徳善家住宅」(国指定建造物9件中9件とも公開※一部内部は非公開)
 ・国選定文化財「重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」公開住宅「長岡家住宅」他8棟(公有施設のみ公開)
 ・国登録有形文化財「山下家住宅別荘」「古本家住宅」(山下家住宅別荘は調理体験室、多目的室として公開・古本家住宅は外観のみ)
 ※市指定文化財「真鍋家住宅」では、重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」架け替え完工を記念し、写真展を実施。また併せて親子囲碁体験教室を離れ座敷にて行った。
 ●歴史的建造物空き家相談事業について
 井川町地区において、地元団体「まち応援団」が空き家の修理や活用について相談を受けている。令和5年度の相談は1件(烏尾家住宅)。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

各指定建造物は、外観からの見学等については概ね公開できているが、内部については空き家であったり、生活空間として現在住まわれている等の理由から公開していない建造物が多くある。これらの建造物については近年における文化財の公開に対する社会的なニーズの高まりなどの背景や、文化財の確実な次世代への継承について、所有者に理解や協力を求めイベント等による限定的な公開が行えるよう努めていく。

状況を示す写真や資料等

【市指定文化財「真鍋家住宅」】

重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」写真展



親子囲碁体験



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●茅葺屋根葺き替え資材確保事業 ●祖谷の蔓橋架け替え資材確保事業 			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 ・茅葺屋根葺き替え資材確保事業/重点区域である祖谷地区には15棟の茅葺屋根建造物があり、これらの茅葺屋根維持管理のための茅(スキ)の確保を実施する。
 ・祖谷の蔓橋架け替え資材確保事業/重点区域の祖谷地区にある「祖谷の蔓橋」は、3年に1度の架け替えが行われている。材料であるシラクチカズラは1度の架け替えて約6t必要であるが、近年は採取できるシラクチカズラは減少傾向である。20年後から30年後の資材確保のため、人工による苗木づくりから山林への植樹活動を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●茅葺屋根葺き替え資材確保事業
 ・茅葺屋根葺き替え資材確保として、令和5年度も重点区域である重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」内にある茅場及び「ふるさと文化財の森 京柱峠」にて、地区保存会と茅刈りを11月に行い、コエグロにより乾燥させている。(令和6年4月～5月に3尺締めにし茅倉庫に移す)
 ●祖谷の蔓橋架け替え資材確保事業
 ・蔓橋の資材であるシラクチカズラを育成していくうえで、生態を調べるため、地元中学生がシラクチカズラの生態について研究されている香川大学農学部を訪問。
 開催日: 令和5年7月5日 会場: 香川大学農学部 参加生徒数: 4名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・茅材の確保について、茅場は2箇所(重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」、京柱峠茅場)があるが、高齢化により作業する者が減ってきており、2箇所の茅刈りが困難となってきている。今後は人材の確保(茅刈り体験会等)も併せて考えていく。 ・蔓橋の資材確保について、苗木づくりでは普及啓発も含め効果が出ているが、20年から30年後の資材確保のための植樹については足りていない。今後は植樹箇所を増やし確保及び管理について計画を立てる。
--	---

状況を示す写真や資料等

【重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」及び京柱峠での茅材確保】

茅刈りとコエグロ作り(落合)



【重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」の材料であるシラクチカズラについて学ぶ】

片岡教授より講義



苗木の生育を見学



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
●景観整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	山村集落やうだつの町並みに見られる、伝統的建造物の周辺景観との調和のために行う修景に要する経費の一部を助成。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●景観整備事業 重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」にある個人所有建造物を対象に屋根の塗り替え及び張替えに対する助成を行い、景観の改善を行った。令和3年度までは49件94棟の塗り替えを行い、令和5年度は1件2棟を行った。また、令和2年度より伝建地区周辺(落合地区に限る)の建造物に対しても、同様の事業を行っているが令和5年度は0件であった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		景観に配慮した屋根の塗り替えが順次進み、効果が表れているが、地区内の国道沿いは塗替えを終えていない建造物が残っている。今後、所有者や管理者に景観の向上や魅力度の向上等多くの向上効果が得られることを説明し、理解や協力を求めていく取り組みが必要。	

状況を示す写真や資料等

【重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」】

屋根塗り替え前

屋根塗り替え後



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
●無電柱化事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	池田町及び井川町のうだつの町並みにおける景観再生を図るため、景観を阻害している電線等を地中化するとともに、車道・歩道・側溝等についても町並みに調和した美装化整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●無電柱化事業 ・池田町及び井川町のうだつの町並みの景観再生として、無電柱化について意見は出るが道路幅が狭く埋設物も多い理由等で進捗していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き無電柱化推進体制の構築について検討を行う。		

状況を示す写真や資料等

【池田町 うだつの町並み】



【井川町 うだつの町並み】



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●祖谷の蔓橋架け替え継承事業 ●茅葺屋根保存団体の設立及び継承事業 ●祖谷石積み工法継承事業 			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	各伝統的工法の継承によって、文化財の保護を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> ●祖谷の蔓橋架け替え継承事業 ・令和5年度は祖谷の蔓橋の架け替えに併せて、地元小中学校に架け替えの体験を行った。開催日: 令和5年2月2日 西祖谷小中学生 参加児童生徒数: 15名 ●茅葺屋根保存団体の設立及び継承事業 ・令和5年度は継承事業として茅葺屋根保存団体での実施はないが、重要文化財「木村家住宅」及び「小采家住宅」の屋根等修理に向けて、文化庁の補助を受け設計を行った。 ●祖谷石積み工法継承事業 ・令和5年度でも、実施できなかった。 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各事業、高齢化に伴う後継者不足が一番の課題となっている。今後も引き続き地元の若い方への協力と理解を求め、また教育としても地元小中学生への啓発活動に取り組む。		

状況を示す写真や資料等

【重要無形民俗文化財「祖谷の蔓橋」架け替え体験】

「祖谷の蔓橋」架け替えを保存会長より学ぶ



【重要文化財「木村家住宅」(右)・「小采家住宅」(左)】

茅葺屋根等の修理を行うために、耐震診断及び補強案等の設計を実施



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●重要無形民俗文化財「西祖谷の神代踊」継承事業 ●伝統行事担い手支援事業 			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	少子高齢化に伴い踊り手や担い手不足が深刻化していることから、地域内外から伝統行事の担い手として高い志をもった人材を募るなど、支援事業を行い、伝統行事の継続を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●重要無形民俗文化財「西祖谷の神代踊」継承事業 ●伝統行事担い手支援事業 ・重点区域の祖谷地区にある善徳天満宮で、重要無形民俗文化財「西祖谷の神代踊」が毎年旧暦6月25日に奉納されている。近年は高齢化による踊り手不足から、地元小学生達に総合学習の一貫として練習から本番まで参加していただいている。令和5年度も、多くの観光客の前で披露された。開催日：令和5年8月11日 地元小中学校 参加児童生徒数：15名			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	少子高齢化、都市部への移住等により西祖谷山村の人口減少は著しく、担い手の育成が大きな課題であるが、今後も引き続き地元小学校等と連携し保存と伝承の推進に取り組んでいく。		

状況を示す写真や資料等

【重要無形民俗文化財「西祖谷の神代踊」】

本番に向けて保存会の方を招き、榎生小学校にて指導



善徳寄合詰所にて地元住民の前で披露



天満宮で奉納



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
●急傾斜地農業継承事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域である祖谷地区において、急傾斜地農業の担い手不足が深刻化している。急傾斜地を利用し作られる農作物は独自のものがあることから、こうした農業の伝統技術を移住者や、地元小中学生に体験及び継承し技術の維持及び保存を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		少子高齢化、都市部への移住等により人口減少は著しく、担い手の育成が大きな課題であるが、今後も引き続き地元小学校等と連携し保存と伝承の推進に取り組んでいく。	

状況を示す写真や資料等

【祖谷雑穀生産組合による急傾斜地の畑づくり】

雑穀植え付け体験



収穫体験



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●佐野集落文化遺産総合調査 ●歴史的文化遺産の掘り起しと保存・継承活動 			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内全域の歴史的文化遺産の掘り起しと保存、継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●佐野集落文化遺産総合調査
 ・重点区域である池田町佐野地区は、四国遍路として平成29年に雲辺寺道が国の史跡として指定、平成30年には地区内にある建造物5件が国の登録文化財に登録された。令和元年から令和3年では地元住民による説明板や散策マップを作成した。令和5年度は昨年度に引き続き総合案内看板作成のために地元住民と打ち合わせを行った。
 ●歴史的文化遺産の掘り起しと保存・継承活動
 ・昨年度、悉皆調査を行った2件4棟の建造物が、文化庁へ諮問し令和5年8月7日に国の登録文化財に登録された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

市民の文化財に対する意識は、高まってきているが、まだまだ十分に調査研究(掘り起し)が出来ていないのが現状であり課題である。名勝調査事業や国の登録文化財のような市内全域をフィールドとした事業や、佐野地区のようにマップの作成にとりかかることで、地域の歴史や文化の新たな掘り起こしに繋がることから、積極的に事業を進めていく。

状況を示す写真や資料等

【歴史文化遺産の掘り起こし】

国の登録文化財に登録された2件

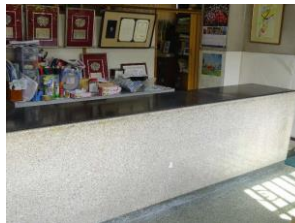
「旧熊谷家住宅」



「旧熊谷家住宅」主屋の内部



「旧四国銀行支店店舗」



「旧四国銀行支店店舗」の内部



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の保存・活用について ●文化財の修理(整備)について 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・市内の未指定文化財の調査を行い、文化財登録制度の活用を含め、文化財保護の措置を進める。
- ・指定、登録を行った文化財は保存状況を把握し、良好な保全が図られるよう保存団体等に適切な指導・助言を行う。
- ・老朽化が進む建造物は、補助金制度を活用した改修事業を実施するなど、所有者に対し支援を行う。
- ・市内の公開施設の整備と展示物の充実を図り、有効的な文化財の活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●文化財の保存・活用について
 ・各指定文化財等の公開等を行った。(P5参照)
 ●文化財の修理(整備)について
 ・各指定文化財の修理を行った。(P3、P4、P9参照)
 ※上記の重要性をより知っていたら、文化財に対する意識向上を図るため「三好市文化財講座」(令和5年最終)を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各文化財の保存活用を実施するにあたり、協議が必要となる事案が多く時間を要するため、人的資源不足が出てきていることが課題となっている。今後は、効率的な事業執行のため、平成31年4月1日に施行された文化財保護法改正に伴って、地域における文化財の保存及び活用を総合的かつ計画的に行うことができるよう創設された「文化財保存活用地域計画制度」による計画策定を視野に入れ、地域社会総がかりによる、文化財の保存及び活用を行う。また市単独事業として、文化財の活用及び人材育成のため「三好市文化財講座」を令和3年度より3か年行う。
--	--

状況を示す写真や資料等

【三好市文化財講座】

文化財講座の様子



文化財講座終了証書授与



文化財講座現地研修

重要文化財「徳善家住宅」での研修の様子



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の保存・活用を行うための施設について ●文化財周辺の環境保全について ●文化財の普及・啓発について 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的建造物の公開に努め、交流施設としての活用を推進する。 ・文化財及び歴史的風致の普及啓発を図るための回遊性を高める案内標識、説明板等を整備する。 ・文化財と農村集落が一体となった良好な環境の畑地や森林の保全に努める。 ・文化財に親しんでもらうためのパンフレットやマップ作成等を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の保存・活用を行うための施設について
 - ・指定文化財、登録文化財等を公開や交流施設として活用を行った。(P5参照)
- 文化財周辺の環境保全について
 - ・重要伝統的建造物群保存地区「東祖谷山村落合」環境整備として茅刈りを行いコエゴロ作りを実施し、歴史的風致保全の取り組みを行った。(P6参照)
- 文化財の普及啓発について
 - ・市内にある183件の指定及び登録文化財を多くの方々に知ってもらい、今後の保存と活用のための人材育成事業として「三好市文化財講座」3ヵ年計画を策定し、令和5年度で最終。(P13参照)
 - ・市内にある歴史的建造物を調査し、国の登録文化財への諮問し、登録された。(P12参照)
 - ・西祖谷地区において、地元小中学生に重要無形民俗文化財「西祖谷の神代踊」に関連する行事に参加していただいた。(P10参照)

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市内に点在する指定及び登録文化財は、平成22年度に歴史的風致維持向上計画(第1期)の認定時より、およそ60件増加し、全体で178件(指定122件・登録56件)となった。これらを今後保護及び活用するための人的資源の不足が課題。どのような保護及び活用をしていくべきか全体計画の策定が必要。そのための人材育成や普及啓発を図るため、指定文化財を活用したセミナー、ワークショップ、モニターツアーの3本を積極的に実施する。

状況を示す写真や資料等

【文化財への意識向上のための普及啓発】

文化財の保存と活用の人材育成のための三好市文化財講座の開催



歴史的建造物、国の登録文化財への登録



「西祖谷の神代踊」担い手育成への取り組み



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の防災について ●埋蔵文化財の取扱いについて ●文化財行政の体制について ●各種団体の状況について 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・三好市地域防災計画に基づき、消防本部、各地区消防団及び自主防災組織を連携させ、文化財等を災害から保護することを推進する。
- ・包蔵地について、所在、範囲、現況を適切に把握し、関係事業課、開発事業者に埋蔵文化財の保存と保護についての啓発を推進する。
- ・三好市文化財保護審議会、伝統的建造物群保存地区保存審議会を設置し保存の重要事項の審議を行い、行政部局に学芸員等専門的な職員配置を検討する。
- ・担い手不足である無形の民俗文化財等保存団体に対して、組織運営補助や用具の整備支援を行い、組織の維持と担い手の育成及び基盤整備の支援を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の防災について
- ・重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」において、自主防災組織にて消火栓及び消火貯水タンクの点検が行われた。(令和5年2月10日)
- 埋蔵文化財の調査について
- ・一般住宅建築等により埋蔵文化財の所在確認が提出され、試掘が行われたが遺構・遺物は確認されなかった。
- 文化財行政の体制について
- ・令和5年度は三好市文化財保護審議会を1回開催(令和5年5月15日)に開催し、審議を行った。(P1参照)
- 保存・活用に関わる各種団体について
- ・文化遺産を活かした地域活性化事業として、組織の維持と担い手育成を図るための団体運営補助金の継続を行った。(18団体)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・指定文化財等の防災設備の設置について、補助制度は設けられているが設備の設置が整っていない物件は多くある。そのため、施設の所有者に対し、早期の設備整備に向けた理解と協力を得るための継続的な働きかけが必要。
 ・文化財の保存活用を進めるには、所有者や地域だけでなく、関係団体との連携も重要であるため、関連事業の情報提供や活用に向けた方策を考えるための意見交換や情報交換を継続的に行う必要がある。そのため文化財保護法改正による文化財保存活用地域計画制度の地域計画策定を視野に入れた体制構築を進める。
 ・埋蔵文化財は、土地所有者をはじめ関係事業課及び関係事業者の理解を得るのに時間がかかる。埋蔵文化財は地域の歴史や文化の成り立ちがわかる歴史的財産であることを理解してもらい、関係者の協力を得るための継続的な働きかけが必要。

状況を示す写真や資料等

【重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」】
自主防災組織による消火栓等の点検



評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	掲載紙等
郷土の自然・歴史満喫	R5.4.5		徳島新聞
五穀豊穣願い矢放つ	R5.4.6		徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・歴史的風致エリアである井川地区において、タバコ産業で栄えた井川町の町並みを、地元ガイド団体が開催し、19名が参加した。
- ・歴史的風致エリアである大歩危小歩危地区にある、尚皇神社にて4年ぶりに本来の形式で百手祭が行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【郷土の自然・歴史満喫(徳島新聞令和5年4月5日)】



【五穀豊穣願い矢放つ(徳島新聞令和5年4月6日)】



評価軸⑤-3
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	掲載紙等
真心を込め丁寧に	R5.6.9		徳島新聞
「神代踊」練習に汗	R5.6.24		徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・歴史的風致エリアである、池田地区において三好市の花「サギソウ」の苗1,000株が、馬路・三縄小学校の児童27名によって、黒沢湿原に植え付けを行った。
- ・歴史的風致エリアである祖谷地区において、重要無形民俗文化財「西祖谷の神代踊」の本番に向け、地元の小学生にも参加を呼びかけ練習が行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【真心を込め丁寧に
(徳島新聞令和5年6月9日)】



【「神代踊」練習に汗(徳島新聞令和5年6月24日)】



評価軸⑤-4
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	掲載紙等
「歴まちカード」三好で配布	R5.8.10	令和5年度	徳島新聞
西祖谷の神代踊奉納	R5.8.12	令和5年度	徳島新聞
「かずら橋ふるさとの誇り」三好市で木橋サミット西祖谷中生訴え	R5.10.6	令和5年度	徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・歴史的風致エリアである祖谷地区において、重要無形民俗文化財「西祖谷の神代踊」が旧暦6月25日である8月11日に、天満宮にて奉納された。地元の小中学生も参加し賑わいを見た。
 ・歴史的風致エリアである祖谷地区にある重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」をはじめ、全国にある歴史的な木橋を後世に残すための意見を交わす、サミットが開催され、地元中学生がふるさとの宝である祖谷の蔓橋について学んできたことが発表された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【「歴まちカード」三好で配布(徳島新聞 令和5年8月10日)】



【西祖谷の神代踊奉納(徳島新聞 令和5年8月12日)】



【「かずら橋ふるさとの誇り」三好市で木橋サミット西祖谷中生訴え(徳島新聞 令和5年10月6日)】



評価軸⑤-5
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	令和5年度 掲載紙等
藤川谷国記念物に	R6.1.7		徳島新聞
新装かずら橋渡り初め	R6.2.24		徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・歴史的風致エリアである大歩危小歩危地区において、藤川谷が妖怪伝承息づく景観が評価され、国記念物に登録された。記念物登録は三好市、徳島で初となる。
- ・歴史的風致エリアである祖谷地区において、重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」の3年ぶり架け替えが完工し、三世代の渡り初めが行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【藤川谷国記念物に(徳島新聞 令和6年1月7日)】



【新装かずら橋渡り初め(徳島新聞 令和6年2月24日)】



評価軸⑥-1
 その他(効果等)
 項目

観光入込客数の推移

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・三好市歴史的風致維持向上計画【第1期】平成22年11月から平成30年3月31日・【第2期】平成31年4月1日～令和10年3月31日
 ・観光入込客数の推移として令和5年度は制限の緩和により、各観光文化財施設の来訪者数は若干回復したが、コロナ前の令和元年度の入込数には戻っていない。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

下記の入込客数データは、祖谷地区にある主要観光文化財施設である。情報発信等も同様に行われており、総合案内パンフレットも充実しているが、入込客数の増減に差が大きく生じていることが課題である。単純に各施設の情報発信不足としては考えにくい。祖谷地区にくる観光客は「祖谷の蔓橋」を目的に来る方が大半を占めていることが下記データからわかる。ここからの観光客の動向調査を関係機関と連携して行い、原因を追究していく必要がある。

【主要観光文化財施設入込客数】

施設名	年度														
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	備考	
祖谷の蔓橋	303,189	331,634	327,562	301,193	348,528	339,035	357,697	380,801	360,790	161,370	173,170	263,023	274,729		
内外国人 観光客数	4,318	8,541	14,293	20,719	32,010	42,308	53,075	54,194	61,446	7,827	1,472	8,638	45,406		
兼合古民家宿泊者数	750	903	1,086	1,454	2,320	2,764	2,984	2,783	2,529	2,110	1,786	1,650	2,280	H28に8棟完工	
長岡家住宅	30	1,063	882	1,280	1,989	1,735	2,824	3,346	2,824	926	750	1,093	2,180	H23.2月末に完工	
阿佐家住宅	-	-	-	-	-	-	1,388	993	885	613	413	582	625	H29より公開	
東祖谷歴史民俗資料館	1,810	4,004	1,988	2,103	2,026	1,873	1,788	1,609	1,552	878	750	1,129	1,140	H24 大河ドラマ「平清盛」	
合計	305,779	337,604	331,498	306,030	354,863	345,607	365,273	388,319	367,665	173,724	178,341	276,134	280,980		

評価対象年度 令和5年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 令和5年度三好市歴史的風致維持向上計画協議会

会議等の開催日時: 令和6年5月16日(木)

(コメントの概要)

●令和5年度の進捗評価及び総括評価に対する各委員からの主な意見

【組織体制】

・体制的に満足しています。担当職員は大変よく頑張っていると思いますが、やはり人が足りないと感じるので、現在募集している地域おこし協力隊で良い人材が来るといいなと思っています。もし地域おこし協力隊が来た場合、文化財担当では3年後に卒業となったときに自立するのは厳しいだろうから、受け皿を作ってほしいなと思っています。

【重点区域における良好な景観を形成する施策】

・景観を阻害している空家の撤去や、落合地区での屋根の塗り替えに対する補助事業は、重点地区の良好な景観を形成するために大変有効だと評価します。今後とも、継続していくことが望まれます。

・池田町本町通(うだつの町並み)の空き家が、サテライトオフィスで進出しているビヨンドが入居し、活用してくれるようになった。家の改修もされ景観が保たれている。今後このような事例が続くことを願います。

【歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項】

・かずら橋の架け替えや茅ぶき屋根の葺き替え、石積みなどの技術は一度途絶えると再生が困難なものだと思います。次世代への技術継承には積極的に取組んでください。また、整備した歴史的風致維持向上施設については、積極的な活用を図ってほしいと思います。

・池田町や井川町のうだつの町並みの無電柱化については、進捗が見られないようです。計画を進められるよう、関係者の協議の場を設けるなどの取り組みが必要ではないかと考えます。

・修景・改修等を計画的に実施し、観光や地域交流の拠点となるよう活用してほしい。

・利活用できる空き家については積極的に活用し、文化財の継承に務めてほしい。

・電線無柱化については、国庫補助の対象となると考えられますので、活用を検討していただきたいです。

【文化財の保存又は活用に関する事項】

・文化財講座を最後まで出席された方がおられて、文化財の保護や活用の理解が広がったことは大きな成果だと思います。

・かずら橋の架け替え作業見学会を見に行ったがとても面白かった。地域文化を理解してもらうのにとっても良い取り組みだと思うので、今後も続けていただきたいです。

・真鍋家住宅西門の改修は、とても綺麗になりました。本町通りのシンボルでもあるので、この場所はずっと活用し維持保存していただきたいです。

・井川町に有形登録文化財が増えたのは喜ばしいが、活用に関しては課題が多いと感じている。

・文化財講座にたくさん参加しているようだが、その参加者がどれだけ地域に出て活動しているか知りたい。

【効果・影響等に関する報道】

・三好市内で活動している団体を、どんどん取り込んで少しずつでも三好のことを外部へ発信していただきたいです。

・三好市の自然環境を生かしたウォーキングイベントが盛んになっていると感じた。

・ガイドさんはだいぶ定着してきて安定した動きを見せているので、新しい取り組みの中では成功事例ではないかと思うので、自立している理想の取り組みだと思う。

【その他(効果等)】

・外国人観光客数が戻りは始めている。今後、文化財説明案内表示の改善を考えていただきたいです。

・今後海外客も増加すると見込まれるが、人気の観光地ではオーバーツーリズムや客層の質の悪化などが問題となっているので、ただ人がたくさん来るのをよしとするのではなく、受け入れ側に負担のないように気を配ることも重要だと思います。

【その他のコメント】

・協議会の視察で小栗家の説明をうけたが、耐震基準に合わせるのと格好すぎずとても見学者が求めているような見た目にはなくなると思った。大変難しい問題だと思うが、より景観が保たれるような技術の進歩を望んでいる。

・落合の管理スタッフ内に移住者でお世話した方がおり、久々に会えて嬉しかった。都市部から来た若者が満足する雇用先としてちいおりという施設があるのはとてもありがたい。

・平成22年度認定以降、歴まち計画の成果を市民にアピールし、理解・認識を求めていくため、これまでの流れをパンフレットにしてはどうか、また市報で紹介(特集記事または連続記事)する、などの工夫がほしい。

・三好ジオパーク構想推進計画との連動として、歴まち計画の範囲にある指定・登録文化財が、カルチュラルサイトとして選定されているので、相互補完的な今後の取組を検討してほしい。

(今後の対応方針)

【組織体制】

・地域おこし協力隊には、3年間で活用しきれっていない文化財施設の活用計画から実施まで取り組んでいただき、3年後も管理及び活用に携わっていただきたいと考えている。

【重点区域における良好な景観を形成する施策】

・引き続き、良好な景観を維持保存していくための事業は継続していく。

・歴史的建造物で空き家については、文化財の指定や登録制度を活用し景観が損なわれないよう事業を進めてきたが、修理費の負担等が課題となっている。今後、支援の拡充を検討していく。

【歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項】

・うだつの町並みの無電柱化については、本町通り保存会と町並み景観の保存について協議し、検討していく。

・整備や活用が行き届いていない施設については、地域おこし協力隊が決まれば活用計画の作成から実施に取り組んでいただく。

【文化財の保存又は活用に関する事項】

・登録文化財の活用について、他の活用事例を収集し、相談を受けた所有者に発信していく。

・文化財講座に3年間出席された方の中には、文化財保護審議委員に選出されたように、活躍する場を設けていきたい。

【効果・影響等に関する報道】

・外国人観光客の増加に伴う課題については、関係機関と協議し解決する方針を検討していく。

【その他(効果等)】

・文化財の耐震化には、意匠的に優れた点を損なわないことが求められるため、今回の耐震化は見送った。今後も文化財の保存については要検討しながら進めていく。

・文化財を活用したことで、雇用に繋がるのが望ましい形だと考えている。他の文化財でも同様な形で雇用に繋がるような方法を検討する。

・歴史的風致維持向上計画のこれまでの成果について、一般市民への広報を検討する。